

Newsletter

—学会会報—

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局

〈目 次〉

- ・ 理事会報告
 - (1) 審議事項
 - (2) 各種委員会報告
 - (3) 代表理事・事務局報告
- ・ 「中間研究集会」開催のお知らせ
- ・ 事務局からのお知らせ

— 〈 理事会報告 〉 —

[2009 年 11 月 08 日(日) 14 時～16 時半 (於) 東北大学東京分室]

定例の理事会が 11 月 8 日(日) 14 時から 16 時半まで、東北大学東京分室で開催されました。理事 18 名、オブザーバーとして次回大会準備委員会の井上正允会員、倉本哲男会員 (佐賀大学)、および事務局 3 名が参加しました。代表理事の挨拶に続き、下記の議題を審議・決定しました。

(1) 審議事項

① 第 20 回大会 (千葉大会) 関連

天笠茂理事より、第 20 回大会 (千葉大会) の報告がなされた。また、資料に基づき、大会決算が以下の通り報告された。会計収支簿を回覧し、審議の結果、大会決算は承認された。

決算報告書

1. 収入の部

収入の部		備考
口座開設費	1,000	会計係の立て替え
大会運営費	800,000	学会事務局より
大会参加費	985,500	正会員 3,500×174 人=609,000
		学生 2,500×19 人=47,500
		臨時会員 3,500×77 人=269,500
		臨時学生 2,500×23 人=57,500
		シンポジウム 1 人=2,000
広告掲載料	430,000	18 社 (うち 1 社 2 重払いのため 40,000 返却)
懇親会参会費	640,000	4,000 円×160 名
弁当預かり	96,000	
資料代	19,000	
銀行利息	110	
収入合計	2,971,610	

2. 支出の部

支出の部		備考
印刷費	953,801	封筒、案内状、プログラム、発表要旨集録集等
人件費	766,162	アルバイト謝金、打ち合わせ食費等
通信費	114,895	プログラム送料、要旨集録送料、切手代等
消耗品費	149,288	文具、名札等
雑費	311,415	お茶、飲み物代、弁当代、御菓子代等
懇親会費用	571,024	補充用酒代を含む
課題研究謝金	60,000	謝金 30,000 円×2 名
その他	45,025	二度払い返金（広告料、会費）、口座開設費返金
支出合計	2,971,610	

3. 残高

$$2,971,610 - 2,971,610 = 0$$

②第 21 回大会（佐賀大会）関連

次期大会準備委員会の井上正允会員・倉本哲男会員（佐賀大学）より、資料に基づき日程ならびに検討事項に関して説明があった。開催日は 2010 年 7 月 3 日（土）～4 日（日）、理事会は 7 月 2 日（金）。教養教育運営機構の教室が使用可能であることが報告された。

③紀要論文等の電子公開について

決定事項は以下の通り。

- i) 電子公開を行うこととする。
- ii) 公開は Cinii にて行う。
- iii) 電子公開の範囲は、以下の通りとする。
 - ・論文、図書紹介、大会報告、海外カリキュラム研究情報とする。発表要旨は範囲としない。
 - ・創刊号から公開し、最新号は一年間非公開。
 - ・料金設定は完全無料。
- iv) 機関リポジトリ登録は、一括して許諾する。

その他、個人の HP の掲載、著作権の所属、会員への周知、機関誌『カリキュラム研究』への著作権の明記、総会での承認までの日程等は、次回定例理事会での継続審議となった。

（2）各種委員会報告

①紀要編集委員会

的場副委員長より、『カリキュラム研究』第 19 号に掲載する「図書紹介」につき、理事に推薦を求めた。また、『カリキュラム研究』第 19 号への投稿論文が 30 本であったことが報告された。

②国際交流委員会

浅沼委員長より、i)活動方針、ii)課題研究のテーマ、iii)科研申請について報告がなされた。

③研究委員会

根津委員より、今期の活動目標と課題研究グループの再編と強化に関して報告がなされた。なお、

再編と強化に関しては、次回定例理事会において審議することとなった。

④研究奨励賞審査委員会

的場副委員長より、日本カリキュラム学会研究奨励賞規定に基づき、理事に推薦を求めた。

⑤20周年記念事業実行委員会

田中統治委員長より、日本カリキュラム学会 20 周年記念国際シンポジウムの収支決算報告がなされた。詳細は以下の通りである。なお、赤字は事務局予備費より補填することとなった。

日本カリキュラム学会 20 周年記念国際シンポジウム 収支決算書	
<収入の部>	
開催準備金として (20 年度予算項目)	500,000
開催資金として (21 年度予算より)	600,000
	計 1,100,000
<支出の部>	
ポスター費	57,750
会場用看板	88,200
発表要旨集印刷	378,000
宿泊費	342,900
提案者謝金として	400,000
通訳・翻訳謝金	160,000
通信費・コピー代	10,000
	計 1,436,850

(3) 代表理事・事務局報告

①会員現況報告

2009 年 11 月 2 日現在、会員総数は、901 名 (一般会員 : 747 名、学生会員 : 144 名、団体会員 : 10 件)。うち、連絡先不明者 29 名、会員資格停止者 150 名を含む。

②ニューズレターの発行

第 50 号ニューズレターを 2009 年 9 月 30 日付で発行した。

③寄贈図書 (2009 年 7 月 7 日～2009 年 11 月 2 日 事務局到着分)

	書名	著者	出版社	奥付日付
1	目標準拠評価論の研究 －学校教育における理論と実践－	岩崎保之	ウエストン出版部	2009 年 8 月 30 日
2	学びあう食育 －子どもたちのニュースクール	関西大学人間活動理論研究センター (監修 山住勝広)	中央公論新社	2009 年 8 月 10 日

— 〈 「中間研究集会」開催のお知らせ 〉 —

「日本カリキュラム学会 第1回研究集会」の開催について

次の通り、第1回研究集会を開催いたします。ふるってご参加ください。

- 日時：2010年3月27日（土） 13:30-16:30 ※終了後、懇親会を開催します。
- 場所：中部大学名古屋キャンパス
名古屋市中区千代田 5-14-22
JR 中央本線「鶴舞」駅名大病院口（北口）下車すぐ
または、地下鉄「鶴舞」駅下車北へ約 100m
- 発表者・タイトル：
竹川慎哉会員（中部大学）・「(仮) グローバリゼーション下の社会的公正とリテラシー教育の
課題 —オーストラリアの事例から—」
香川大学教育学部附属高松小学校（団体会員）・「活用する力をはぐくむパフォーマンス評価」
- 参加資格：日本カリキュラム学会会員 参加費：無料
- 受付：会場整備・資料部数確保のため、研究集会への参加を希望される会員は、
参加希望の旨を事前にメールで研究委員会宛にお知らせ願います。
- 連絡先メールアドレス（研究集会専用）：jscs_research@yahoo.co.jp

— 〈 事務局からのお知らせ 〉 —

（1）平成 21 年度分 会費納入のお願い

納入促進に皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。年会費を滞納しますと、学会誌が送付されなくなると同時に、大会での発表資格・学会誌への投稿資格を失いますので、ご注意願います。

本年度までの会費未納の方は、宛名ラベルのお名前の下に、未納年度を記載しております。4年分の年会費が未納の方は、会員資格が停止されますので、ご注意ください。未納の方は、同封の払込票をご利用になり、できるだけ早く納入してください。なお、事務処理上、納入時期とラベル記載情報との間に、若干の行き違いが生じる可能性があります。その際は何とぞご容赦ください。

また単年度に複数回振り込まれた場合、事務局では次年度会費として繰り越しております。会費納入状況につき、ご不明の点がございましたら、些細な点でも結構ですので、ご遠慮無く事務局までお問い合わせください。 （年会費：一般 6,000 円、学生 3,000 円、団体 10,000 円）

（2）会員情報変更連絡のお願い

会員情報に変更があった場合は、必ず事務局にご一報賜りますよう宜しくお願いいたします。

〒980-8576

仙台市青葉区川内 27-1

東北大学大学院教育学研究科内

日本カリキュラム学会 事務局

TEL&FAX：022-795-3755

振替口座番号：00880-0-69090

E-mail:jscs@nifty.com

URL：<http://homepage3.nifty.com/jscs/>